

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 3 年 4 月 30 日 (2021.4.30)

【公表番号】特表 2020-512114 (P2020-512114A)
【公表日】令和 2 年 4 月 23 日 (2020.4.23)
【年通号数】公開・登録公報 2020-016
【出願番号】特願 2019-553216 (P2019-553216)
【国際特許分類】

A 6 1 M 16/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M	16/06	Z
A 6 1 M	16/06	A

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 3 月 18 日 (2021.3.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

患者の気道に呼吸ガスの流れを送る際に使用するための患者インターフェースデバイス用のバルブ装置であって、

前記患者インターフェースデバイスは、内部に空洞が画定されるフレーム部を含み、前記空洞は、前記患者の前記気道に移る前に呼吸ガスの前記流れを受入れ、

前記バルブ装置は、

結合部及び前記結合部から延在する遮断部を有するバルブ部材と、

結合部及び前記結合部から延在する保護部を有するガード部材と、

を含み、

前記バルブ部材の前記結合部は、前記フレーム部に結合され、前記遮断部は、前記空洞と外部環境との間に通路を提供する開口部の周りに密封係合し、前記遮断部は、第 1 の位置と第 2 の位置との間で移動し、

前記ガード部材の前記結合部は、前記フレーム部に結合され、

前記バルブ部材の前記遮断部が前記第 1 の位置から前記第 2 の位置に向かって移動すると、前記遮断部は、前記ガード部材の前記保護部に向かって移動する、バルブ装置。

【請求項 2】

前記バルブ部材の前記結合部は、前記ガード部材の前記結合部に結合される、請求項 1 に記載のバルブ装置。

【請求項 3】

前記ガード部材の前記結合部は、貫通孔を有する受け部を有し、前記バルブ部材の前記結合部は、第 1 の部分、前記第 1 の部分の反対側に配置された第 2 の部分及び前記第 1 の部分と前記第 2 の部分との間に延在する中間部分を有し、前記中間部分は、前記受け部の前記貫通孔を通り延在し、前記第 1 の部分及び前記第 2 の部分はそれぞれ、前記バルブ部材を前記ガード部材に直接的に結合するために、前記受け部と係合する、請求項 2 に記載のバルブ装置。

【請求項 4】

前記ガード部材の前記結合部は更に、前記フレーム部を通り延在し、前記フレーム部に結合される本体部を有する、請求項 1 に記載のバルブ装置。

【請求項 5】

前記本体部の中又は上に設けられた磁性材料を更に含む、請求項 4 に記載のバルブ装置。

【請求項 6】

前記保護部は、幾つかの貫通孔を有する、請求項 1 に記載のバルブ装置。

【請求項 7】

前記遮断部が前記第 1 の位置にあるときに、前記遮断部と前記保護部とが互いにほぼ平行である、請求項 1 に記載のバルブ装置。

【請求項 8】

前記ガード部材は、硬い熱可塑性材料で作られ、前記バルブ部材は、シリコンで作られる、請求項 1 に記載のバルブ装置。

【請求項 9】

患者の気道に呼吸ガスの流れを送る際に使用するための患者インターフェースデバイスであって、

- (a) 前記患者の少なくとも口の周りに密封係合するシーリング部と、
- (b) 前記シーリング部を支持し、内部に空洞が画定されるフレーム部と、
- (c) 窒息防止装置と、

を含み、

前記空洞は、前記患者の前記気道に移る前に呼吸ガスの前記流れを受け入れ、前記窒息防止装置は、

- (1) 前記フレーム部に画定される開口部と、
- (2) 結合部及び前記結合部から延在する遮断部を有するバルブ部材と、
- (3) 結合部及び前記結合部から延在する保護部を有するガード部材と、

を含み、

前記開口部は、周囲環境から前記空洞への周囲空気の通過を可能にするように配置及び構造化され、

前記バルブ部材の前記結合部は、前記フレーム部に結合され、前記遮断部は、

(i) 前記遮断部が前記開口部の周りを密封して、前記周囲空気が前記開口部を通過しないようにする第 1 の位置と、

(i i) 前記遮断部の少なくとも一部が前記開口部から離間されることにより、周囲空気が前記空洞を通過して前記開口部へと入ることを可能にする第 2 の位置との間を移動し、

前記ガード部材の前記結合部は、前記フレーム部に結合され、前記ガード部材の前記保護部は、前記シーリング部が前記患者の少なくとも口の周りに密封係合されるときに、前記バルブ部材の前記遮断部と前記患者の前記口との間に配置されるように配置及び構造化され、前記バルブ部材の前記遮断部が、前記第 1 の位置から前記第 2 の位置に向かって移動すると、前記遮断部は、前記ガード部材の前記保護部に向かって移動する、患者インターフェースデバイス。

【請求項 10】

前記ガード部材の前記結合部は、スナップ式に前記フレーム部に結合される、請求項 9 に記載の患者インターフェースデバイス。

【請求項 11】

前記バルブ部材の前記結合部は、前記ガード部材の前記結合部に結合される、請求項 9 に記載の患者インターフェースデバイス。

【請求項 12】

前記保護部は、幾つかの貫通孔を有する、請求項 9 に記載の患者インターフェースデバイス。

【請求項 13】

ヘッドギアと、少なくとも 1 つのクリップ部材とを更に含み、前記少なくとも 1 つのクリップ部材は、前記ヘッドギア及び前記ガード部材の前記結合部に結合される、請求項 9

に記載の患者インターフェースデバイス。

【請求項 14】

前記少なくとも 1 つのクリップ部材の中又は上に設けられる少なくとも 1 つの磁性材料を更に含み、前記少なくとも 1 つの窒息防止装置は更に、前記ガード部材の前記結合部の中又は上に設けられる磁性材料を含み、前記少なくとも 1 つのクリップ部材の中又は上に設けられる前記少なくとも 1 つの磁性材料は、前記少なくとも 1 つのクリップ部材を前記ガード部材の前記結合部に結合するために、前記ガード部材の前記結合部の中又は上に設けられる前記磁性材料と引き合うように相互作用する、請求項 13 に記載の患者インターフェースデバイス。

【請求項 15】

前記ガード部材の前記結合部は、前記フレーム部を通り延在し、前記フレーム部に結合される本体部を更に有する、請求項 9 に記載の患者インターフェースデバイス。